

大学番号：024

注3

事前伺い

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

東京外国語大学大学院 総合国際学研究所博士後期課程
世界言語社会専攻・国際日本専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東京外国語大学
平成30年5月1日現在

作成担当者	
総務企画課	
カチョウ 課長	オオノ サトコ 大野 智子
電話番号	042-330-5152
(夜間)	042-330-5152
F A X	042-330-5140
e-mail	soumu-hyouka@tufs.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合国際学研究科

<世界言語社会専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

<国際日本専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	37
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	38
5. 教員組織の状況	40
6. 留意事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東京外国語大学

(2) 大学名

東京外国語大学大学院

(3) 大学の位置

〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タテイシ ヒロタカ) 立石 博高 (平成25年4月)		
研究科長	(アオヤマ トオル) 青山 亨 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 世界言語社会専攻 博士(学術)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	3年	30人	90人	基礎となる学部等 総合国際学研究科 博士前期課程

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	25人 () []	5人 () []	30人 () []	() []	() []	() []	() []	() []	0.87倍	・平成30年度改組 ・秋季入学試験未実施 ・春季入学において、社会人の別は設けていない
志願者数	43 (6) [21]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	40 (6) [18]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	27 (3) [9]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	26 (3) [9]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.87									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	26 [9] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	その他の学期の入学定員：5名
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	26 人	0 人	平成27年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
合計	26 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 世界言語社会専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	(研究科共通科目) 異分野交流研究1	1-2-3①	2			1						
	異分野交流研究2	1-2-3③	2									1
世界言語社会専攻	<言語文化研究プログラム>											
	言語学1	1-2-3①	2			2	1					
	言語学2	1-2-3③	2			2	1					
	言語情報学1	1-2-3①	2			1	1					
	言語情報学2	1-2-3③	2			1	1					
	英語学・英語教育学1	1-2-3①	2			5						
	英語学・英語教育学2	1-2-3③	2			5						
	音声学1	1-2-3①	2			1						
	音声学2	1-2-3③	2			1						
	ヨーロッパ・アメリカ言語論1	1-2-3①	2			4	3					
	ヨーロッパ・アメリカ言語論2	1-2-3③	2			4	3					
	アジア・アフリカ言語論1	1-2-3①	2			6	8					
	アジア・アフリカ言語論2	1-2-3③	2			6	8					
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1	1-2-3①	2			5	4					
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2	1-2-3③	2			5	4					
	アジア・アフリカ文学・文化論1	1-2-3①	2			5	4					
	アジア・アフリカ文学・文化論2	1-2-3③	2			5	4					
	人間文化論1	1-2-3①	2			1	1					
	人間文化論2	1-2-3③	2			1	1					
	<国際社会研究プログラム>											
	現代世界論1	1-2-3①	2			2	1					
	現代世界論2	1-2-3③	2			2	1					
	ヨーロッパ・アメリカ地域研究1	1-2-3①	2			3	3					
	ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	1-2-3③	2			3	3					
	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1	1-2-3①	2			6	4					
	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	1-2-3③	2			6	4					
	国際関係論1	1-2-3①	2			2	3					
	国際関係論2	1-2-3③	2			2	3					
	<Peace and Conflict Studies プログラム>											
	Applied Peacebuilding 1	1-2-3①	2			1						
	Applied Peacebuilding 2	1-2-3③	2			1						
	Conflict and Social Change 1	1-2-3①	2			1						
Conflict and Social Change 2	1-2-3③	2			1							
Foundation for Peacebuilding 1	1-2-3①	2			1							
Foundation for Peacebuilding 2	1-2-3③	2			1							
<アジア・アフリカフィールド研究プログラム>												
アジア・アフリカフィールド言語学	1-2-3①	2			5							
アジア・アフリカフィールド言語学	1-2-3③	2			5							
アジア・アフリカフィールド人類学	1-2-3①	2			3	1						
アジア・アフリカフィールド人類学	1-2-3③	2			3	1						
アジア・アフリカフィールド地域研	1-2-3①	2			4	5						
アジア・アフリカフィールド地域研	1-2-3③	2			4	5						
アジア・アフリカフィールドワーク	1-2-3①	2			1	1						
アジア・アフリカフィールドワーク	1-2-3③	2			1	1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	(研究科共通科目) 異分野交流研究1	1-2-3①	2			1	1					
	異分野交流研究2	1-2-3③	2			2	1					1
世界言語社会専攻	<言語文化研究プログラム>											
	言語学1	1-2-3①	2			2	1					
	言語学2	1-2-3③	2			2	1					
	言語情報学1	1-2-3①	2			1	1					
	言語情報学2	1-2-3③	2			1	1					
	英語学・英語教育学1	1-2-3①	2			6						
	英語学・英語教育学2	1-2-3③	2			6						
	音声学1	1-2-3①	2			2						
	音声学2	1-2-3③	2			2						
	ヨーロッパ・アメリカ言語論1	1-2-3①	2			6	3					
	ヨーロッパ・アメリカ言語論2	1-2-3③	2			6	3					
	アジア・アフリカ言語論1	1-2-3①	2			4	9					
	アジア・アフリカ言語論2	1-2-3③	2			5	9					
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1	1-2-3①	2			6	5					
	ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2	1-2-3③	2			6	5					
	アジア・アフリカ文学・文化論1	1-2-3①	2			9	4					
	アジア・アフリカ文学・文化論2	1-2-3③	2			9	5					
	人間文化論1	1-2-3①	2			1	1					
	人間文化論2	1-2-3③	2			1	1					
	<国際社会研究プログラム>											
	現代世界論1	1-2-3①	2			5	1					
	現代世界論2	1-2-3③	2			5	1					
	ヨーロッパ・アメリカ地域研究1	1-2-3①	2			5	4					
	ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	1-2-3③	2			5	4					
	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1	1-2-3①	2			9	6					
	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	1-2-3③	2			9	6					
	国際関係論1	1-2-3①	2			4	2					
	国際関係論2	1-2-3③	2			4	2					
	<Peace and Conflict Studies プログラム>											
	Applied Peacebuilding 1	1-2-3①	2			1						
	Applied Peacebuilding 2	1-2-3③	2			1						
	Conflict and Social Change 1	1-2-3①	2			1						1
Conflict and Social Change 2	1-2-3③	2			1						1	
Foundation for Peacebuilding 1	1-2-3①	2			1							
Foundation for Peacebuilding 2	1-2-3③	2			1							
<アジア・アフリカフィールド研究プログラム>												
アジア・アフリカフィールド言語学	1-2-3①	2			6	5						
アジア・アフリカフィールド言語学	1-2-3③	2			6	5						
アジア・アフリカフィールド人類学	1-2-3①	2			4	1						
アジア・アフリカフィールド人類学	1-2-3③	2			4	1						
アジア・アフリカフィールド地域研	1-2-3①	2			8	4						
アジア・アフリカフィールド地域研	1-2-3③	2			8	4						
アジア・アフリカフィールドワーク	1-2-3①	2			1	1						
アジア・アフリカフィールドワーク	1-2-3③	2			1	1						

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容充実のため、「異分野交流研究1」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「異分野交流研究2」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授0」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「英語学・英語教育学1・2」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。
- ・教育内容充実のため、「音声学1・2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・指導体制強化及び専任教員昇任のため、「ヨーロッパ・アメリカ言語論1・2」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」に変更。
- ・指導体制強化、担当予定教員死去、専任教員特別研修のため、「アジア・アフリカ言語論1」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授8」から「教授4」「准教授9」に変更。
- ・担当予定教員死去、指導体制強化のため、「アジア・アフリカ言語論2」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授8」から「教授5」「准教授9」に変更。
- ・教育内容充実のため、「ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1・2」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」から「教授6」「准教授5」に変更。
- ・教育内容充実、科目内容を考慮した担当変更、指導体制強化、専任教員特別研修のため、「アジア・アフリカ文学・文化論1」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授9」に変更。
- ・教育内容充実、科目内容を考慮した担当変更、指導体制強化のため、「アジア・アフリカ文学・文化論2」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」から「教授9」「准教授5」に変更。
- ・教育内容充実のため、「現代世界論1・2」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授5」に変更。
- ・教育内容充実、指導体制強化のため、「ヨーロッパ・アメリカ地域研究1・2」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」から「教授5」「准教授4」に変更。
- ・教育内容充実、指導体制強化、科目内容を考慮した担当変更のため、「アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」から「教授9」「准教授6」に変更。
- ・教育内容充実、専任教員昇任のため「国際関係論1・2」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」から「教授4」「准教授2」に変更。
- ・教育内容充実のため、「Conflict and Social Change1・2」の担当に、兼任教員を1名追加。
- ・教育内容充実のため、「アジア・アフリカフィールド言語学1・2」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授0」から「教授6」「准教授5」に変更。
- ・教育内容充実のため、「アジア・アフリカフィールド人類学1・2」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・教育内容充実、専任教員昇任のため、「アジア・アフリカフィールド地域研究1・2」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授5」から「教授8」「准教授4」に変更。
- ・秋入学に則した配当学期とするため、「Applied Peacebuilding1・2」「Conflict and Social Change1・2」「Foundation for Peacebuilding1・2」の配当学期を変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0	42	0	42	0	42	0	42	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{42} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	94,250 m ²	0 m ²	0 m ²	94,250 m ²			
	運 動 場 用 地	27,758 m ²	0 m ²	0 m ²	27,758 m ²			
	小 計	122,008 m ²	0 m ²	0 m ²	122,008 m ²			
	そ の 他	7,992 m ²	0 m ²	0 m ²	7,992 m ²			
	合 計	130,000 m ²	0 m ²	0 m ²	130,000 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		42,158 m ² (42,158 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	42,158 m ² (42,158 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		42 室	42 室	1 室	6 室 (補助職員 0 人)	1 室 (補助職員 5 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		世界言語社会専攻			130 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	世界言語社会専攻	855,261 [463,980] (863,350 [467,428])	9,607 [3,370] (9,769 [3,565])	6,473 [5,904] (6,473 [5,904])	1188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
	計	855,261 [463,980] (863,350 [467,428])	9,607 [3,370] (9,769 [3,565])	6,473 [5,904] (6,473 [5,904])	1188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		6,930m ²		564席	689,694冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,040 m ²		テニスコート 5面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京外国語大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
言語文化学部									
言語文化学科	4	370	3年次 15	1,510	学士(言語・地域文化)	1.06	平成24年度	東京都府中市朝日町三丁目11番1号	
国際社会学部									
国際社会学科	4	375	3年次 15	1,530	学士(言語・地域文化)	1.06	平成24年度	同上	
外国語学部									
欧米第一課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
欧米第二課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
ロシア・東欧課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
東アジア課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
東南アジア課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
南・西アジア課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
日本課程	4	-	-	-	学士(言語・地域文化)	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
総合国際学研究科 博士前期課程									
世界言語社会専攻	2	102	-	204	修士(学術) 修士(文学) 修士(言語学) 修士(国際学)	0.89	平成28年度	同上	
国際日本専攻	2	46	-	86	修士(学術) 修士(文学) 修士(言語学) 修士(国際学)	0.95	平成28年度	同上	
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(学術) 修士(文学) 修士(言語学) 修士(国際学)	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止
言語応用専攻	2	-	-	-	修士(学術) 修士(文学) 修士(言語学) 修士(国際学)	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止
地域・国際専攻	2	-	-	-	修士(学術) 修士(文学) 修士(言語学) 修士(国際学)	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止

国際協力専攻	2	-	-	-	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	-	平成19年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
博士後期課程 世界言語社会専攻	3	30	-	90	博士（学術）	0.87	平成30年度	同上	10月入学入試未 実施
国際日本専攻	3	10	-	30	博士（学術）	0.90	平成31年度	同上	10月入学入試未 実施
言語文化専攻	3	-	-	-	博士（学術）	-	平成21年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
国際社会専攻	3	-	-	-	博士（学術）	-	平成21年度	同上	平成30年度より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合国際学研究所 世界言語社会専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	鈴木 玲子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1 アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2	専	教授	鈴木 玲子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1 異分野交流研究 2 アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	金指 久美子 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	専	准教授	金指 久美子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1 異分野交流研究 2 ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	教授	望月 圭子 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2	専	教授	望月 圭子 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2
専	教授	風間 伸次郎 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2	専	教授	風間 伸次郎 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2
専	准教授	箕浦 信勝 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2	専	准教授	箕浦 信勝 <平成30年4月> 言語学 1 言語学 2
専	教授	佐野 洋 <平成30年4月> 言語情報学 1 言語情報学 2	専	教授	佐野 洋 <平成30年4月> 言語情報学 1 言語情報学 2
専	准教授	望月 源 <平成30年4月> 言語情報学 1 言語情報学 2	専	准教授	望月 源 <平成30年4月> 言語情報学 1 言語情報学 2
専	教授	浦田 和幸 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2	専	教授	浦田 和幸 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2
専	教授	斎藤 弘子 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2	専	教授	斎藤 弘子 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2
専	教授	根岸 雅史 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2	専	教授	根岸 雅史 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2
専	教授	吉富 朝子 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2	専	教授	吉富 朝子 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2
専	教授	投野 由紀夫 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2	専	教授	投野 由紀夫 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2
			専	教授	高島 英幸 <平成30年4月> 英語学・英語教育学 1 英語学・英語教育学 2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	中川 裕 <平成30年4月> 音声学 1 音声学 2	中川 裕 <平成30年4月> 音声学 1 音声学 2
			益子 幸江 <平成30年4月> 音声学 1 音声学 2
専	教授	成田 節 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	成田 節 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	教授	川口 裕司 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	川口 裕司 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	教授	川上 茂信 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	川上 茂信 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	教授	匹田 剛 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	匹田 剛 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
			黒澤 直俊 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	准教授	藤縄 康弘 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	藤縄 康弘 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	准教授	森田 耕司 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2	森田 耕司 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
			秋廣 尚恵 <平成30年4月> ヨーロッパ・アメリカ言語論 1 ヨーロッパ・アメリカ言語論 2
専	教授	ラトクリフ・ロバート アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2	
専	教授	三宅 登之 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2	三宅 登之 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	教授	加藤 晴子 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2	加藤 晴子 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	教授	五十嵐 孔一 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2	五十嵐 孔一 <平成30年4月> アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	菅原 睦 ＜平成30年4月＞	専	教授	菅原 睦 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	南 潤珍 ＜平成30年4月＞	専	准教授	南 潤珍 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	趙 義成 ＜平成30年4月＞	専	准教授	趙 義成 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	上田 広美 ＜平成30年4月＞	専	准教授	上田 広美 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	岡野 賢二 ＜平成30年4月＞	専	准教授	岡野 賢二 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	降幡 正志 ＜平成30年4月＞	専	准教授	降幡 正志 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	野元 裕樹 ＜平成30年4月＞	専	准教授	野元 裕樹 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	萬宮(小牧) 健策 ＜平成30年4月＞	専	准教授	萬宮(小牧) 健策 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	准教授	吉枝 聡子 ＜平成30年4月＞	専	准教授	吉枝 聡子 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2			アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
			専	准教授	長屋 尚典 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ言語論 1 アジア・アフリカ言語論 2
専	教授	鈴木 聡 ＜平成30年4月＞	専	教授	鈴木 聡 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	教授	山口 裕之 ＜平成30年4月＞	専	教授	山口 裕之 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	教授	武田 千香 ＜平成30年4月＞	専	教授	武田 千香 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	教授	沼野 恭子 ＜平成30年4月＞	専	教授	沼野 恭子 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	加藤 雄二 ＜平成30年4月＞	専	教授	加藤 雄二 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2 真分野交流研究2
			専	教授	岩崎 務 ＜平成30年4月＞
					ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	准教授	西岡 あかね ＜平成30年4月＞	専	准教授	西岡 あかね ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	准教授	久野 量一 ＜平成30年4月＞	専	准教授	久野 量一 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	准教授	前田 和泉 ＜平成30年4月＞	専	准教授	前田 和泉 ＜平成30年4月＞
		ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2			ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
			専	准教授	林 和宏 ＜平成30年4月＞
					ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
			専	准教授	荒原 邦博 ＜平成30年4月＞
					ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1 ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論2
専	教授	水野 善文 ＜平成30年4月＞	専	教授	水野 善文 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
専	教授	八木 久美子 ＜平成30年4月＞	専	教授	八木 久美子 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
専	教授	青山 亨 ＜平成30年4月＞	専	教授	青山 亨 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
専	教授	粟屋 利江 ＜平成30年4月＞	専	教授	粟屋 利江 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
専	教授	林 佳世子 ＜平成30年4月＞	専	教授	林 佳世子 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
専	教授	土佐 桂子 ＜平成30年4月＞	専	教授	土佐 桂子 ＜平成30年4月＞
		アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2			アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2
			専	教授	川島 都夫 ＜平成30年4月＞
					アジア・アフリカ文学・文化論1 アジア・アフリカ文学・文化論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
					岡田 和行 <平成30年4月>
			専	教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
					藤井 守男 <平成30年4月>
			専	教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
		橋本 雄一 <平成30年4月>			橋本 雄一 <平成30年4月>
専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2	専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
		岡田 知子 <平成30年4月>			岡田 知子 <平成30年4月>
専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2	専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
		丹羽 京子 <平成30年4月>			丹羽 京子 <平成30年4月>
専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2	専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
		佐々木 あや乃 <平成30年4月>			佐々木 あや乃 <平成30年4月>
専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2	専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論2
					野平 崇弘 <平成30年4月>
			専	准教授	アジア・アフリカ文学・ 文化論1 アジア・アフリカ文学・ 文化論2
		吉本 秀之 <平成30年4月>			吉本 秀之 <平成30年4月>
専	教授	人間文化論1 人間文化論2	専	教授	人間文化論1 人間文化論2
		田島 充士 <平成30年4月>			田島 充士 <平成30年4月>
専	准教授	人間文化論1 人間文化論2	専	准教授	人間文化論1 人間文化論2
		真島 一郎 <平成30年4月>			真島 一郎 <平成30年4月>
専	教授	現代世界論1 現代世界論2	専	教授	現代世界論1 現代世界論2
		岡田 昭人 <平成30年4月>			岡田 昭人 <平成30年4月>
専	教授	現代世界論1 現代世界論2	専	教授	現代世界論1 現代世界論2
					金 富子 <平成30年4月>
			専	教授	現代世界論1 現代世界論2
					岩崎 裕 <平成30年4月>
			専	教授	現代世界論1 現代世界論2
					今福 龍太 <平成30年4月>
			専	教授	現代世界論1 現代世界論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	加藤 美帆 (年齢) ＜平成30年4月＞ 現代世界論1 現代世界論2	専	准教授	加藤 美帆 (年齢) ＜平成30年4月＞ 現代世界論1 現代世界論2
専	教授	千葉 敏之 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	教授	千葉 敏之 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	教授	篠原 琢 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	教授	篠原 琢 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	教授	鈴木 義一 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	教授	鈴木 義一 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
			専	教授	高橋 均 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
			専	教授	鈴木 茂 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	准教授	伊東 剛史 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	准教授	伊東 剛史 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	准教授	芹生 尚子 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	准教授	芹生 尚子 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	准教授	久米 順子 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2	専	准教授	久米 順子 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
			専	准教授	小田原 琳 (年齢) ＜平成30年4月＞ ヨーロッパ・アメリカ地域研究1 ヨーロッパ・アメリカ地域研究2
専	教授	澤田 ゆかり (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	専	教授	澤田 ゆかり (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2
専	教授	宮田 敏之 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	専	教授	宮田 敏之 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2
専	教授	青山 弘之 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	専	教授	青山 弘之 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2
専	教授	吉田 ゆり子 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	専	教授	吉田 ゆり子 (年齢) ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名	
専	教授	米谷 匡史 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2	米谷 匡史 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			丹羽 景 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			今井 昭夫 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			小川 英文 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			藤井 毅 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
専	准教授	山内 由理子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2	山内 由理子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
専	准教授	坂井 真紀子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2	坂井 真紀子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
専	准教授	左右田 直規 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2	左右田 直規 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
専	准教授	菊池 陽子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2	菊池 陽子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			青木 雅浩 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
			倉田 明子 ＜平成30年4月＞ アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究1 アジア・アフリカ・オセ アニア地域研究2
専	教授	松隈 潤 ＜平成30年4月＞ 国際関係論1 国際関係論2	松隈 潤 ＜平成30年4月＞ 国際関係論1 国際関係論2
専	教授	若松 邦弘 ＜平成30年4月＞ 国際関係論1 国際関係論2	若松 邦弘 ＜平成30年4月＞ 国際関係論1 国際関係論2
			速達 啓貴 ＜平成30年4月＞ 国際関係論1 国際関係論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	田島 陽一 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2	専	教授	田島 陽一 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2
専	准教授	鈴木 美弥子 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2	専	准教授	鈴木 美弥子 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2
専	准教授	蒲生 慶一 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2	専	准教授	蒲生 慶一 <平成30年4月> 国際関係論1 国際関係論2
専	教授	伊勢崎 賢治 <平成30年4月> Applied Peacebuilding 2 Applied Peacebuilding 1	専	教授	伊勢崎 賢治 <平成30年4月> Applied Peacebuilding 2 Applied Peacebuilding 1
専	教授	松永 泰行 <平成30年4月> Conflict and Social Change 2 Conflict and Social Change 1	専	教授	松永 泰行 <平成30年4月> Conflict and Social Change 2 Conflict and Social Change 1
専	教授	篠田 英朗 <平成30年4月> Foundation for Peacebuilding 2 Foundation for Peacebuilding 1	専	教授	篠田 英朗 <平成30年4月> Foundation for Peacebuilding 2 Foundation for Peacebuilding 1
専	教授	渡辺 己 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2	専	教授	渡辺 己 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
専	教授	星 泉 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2	専	教授	星 泉 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
専	教授	呉人 徳司 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2	専	教授	呉人 徳司 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
専	教授	中山 俊秀 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2	専	教授	中山 俊秀 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
専	教授	澤田 英夫 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2	専	教授	澤田 英夫 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
			専	教授	峰岸 真尋 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
			専	准教授	荒川 慎太郎 <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2
			専	准教授	伊藤 智ゆき <平成30年4月> アジア・アフリカフ ィールド言語学1 アジア・アフリカフ ィールド言語学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		担当授業科目名			担当授業科目名
					塩原 朝子 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド言語学1 アジア・アフリカワールド言語学2
					品川 大輔 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド言語学1 アジア・アフリカワールド言語学2
					山越 康裕 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド言語学1 アジア・アフリカワールド言語学2
専	教授	床呂 郁哉 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2	専	教授	床呂 郁哉 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2
専	教授	河合 香吏 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2	専	教授	河合 香吏 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2
専	教授	西井 涼子 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2	専	教授	西井 涼子 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2
					深澤 秀夫 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2
専	准教授	椎野 若菜 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2	専	准教授	椎野 若菜 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド人類学1 アジア・アフリカワールド人類学2
専	教授	飯塚 正人 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	教授	飯塚 正人 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
専	教授	栗原 浩英 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	教授	栗原 浩英 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
専	教授	近藤 信彰 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2 アジア・アフリカワールドワーク1 アジア・アフリカワールドワーク2	専	教授	近藤 信彰 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2 アジア・アフリカワールドワーク1 アジア・アフリカワールドワーク2
専	教授	黒木 英充 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	教授	黒木 英充 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
専	准教授	高松 洋一 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	教授	高松 洋一 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
専	准教授	外川 昌彦 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	教授	外川 昌彦 <平成30年4月> アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2 アジア・アフリカ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
					小田 淳一 ＜平成30年4月＞
			専	教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
					高島 洋 ＜平成30年4月＞
			専	教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
		石川 博樹 ＜平成30年4月＞			石川 博樹 ＜平成30年4月＞
専	准教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	准教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2
		太田 信宏 ＜平成30年4月＞			太田 信宏 ＜平成30年4月＞
専	准教授	アジア・アフリカワールドワーク1 アジア・アフリカワールドワーク2	専	准教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2 アジア・アフリカワールドワーク1 アジア・アフリカワールドワーク2
		苅谷 康太 ＜平成30年4月＞			苅谷 康太 ＜平成30年4月＞
専	准教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2	専	准教授	アジア・アフリカワールド地域研究1 アジア・アフリカワールド地域研究2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	野田 仁 <平成30年4月>	専	准教授	野田 仁 <平成30年4月>
		アジア・アフリカフ ィールド地域研究 1 アジア・アフリカフ ィールド地域研究 2			アジア・アフリカフ ィールド地域研究 1 アジア・アフリカフ ィールド地域研究 2
兼任	教授	柴田 謙二 <平成30年4月>	兼任	教授	柴田 謙二 <平成30年4月>
		異分野交流研究 2			異分野交流研究 2
			兼任	教授	間 享 <平成30年4月>
					Conflict and Social Change 2 Conflict and Social Change 1

- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年
平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容充実のため、下記の教員を追加。
 - 鈴木玲子教授 (異分野交流研究2)
 - 高島英幸教授 (英語学・英語教育学1・2)
 - 益子幸江教授 (音声学1・2)
 - 黒澤直俊教授 (ヨーロッパ・アメリカ言語論1・2)
 - 加藤雄二教授 (異分野交流研究2)
 - 岩崎務教授 (ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1・2)
 - 林和宏准教授 (ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1・2)
 - 川島郁夫教授 (アジア・アフリカ文学・文化論1・2)
 - 岡田和行教授 (アジア・アフリカ文学・文化論1・2)
 - 藤井守男教授 (アジア・アフリカ文学・文化論1・2)
 - 金富子教授 (現代世界論1・2)
 - 岩崎稔教授 (現代世界論1・2)
 - 今福龍太教授 (現代世界論1・2)
 - 鈴木茂教授 (ヨーロッパ・アメリカ地域研究1・2)
 - 丹羽泉教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 今井昭夫教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 小川英文教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 藤井毅教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 渡邊啓貴教授 (国際関係論1・2)
 - 峰岸真琴教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 深澤秀夫教授 (アジア・アフリカフィールド人類学1・2)
 - 小田淳一教授 (アジア・アフリカフィールド地域研究1・2)
 - 高島淳教授 (アジア・アフリカフィールド地域研究1・2)
 - 間軍教授 (兼担) (Conflict and Social Change 2・1)
- ・指導体制強化のため、下記の教員を追加。
 - 金指久美子准教授 (異分野交流研究1・2)
 - 秋廣尚准教授 (ヨーロッパ・アメリカ言語論1・2)
 - 長屋尚典准教授 (アジア・アフリカ言語論1・2)
 - 野平宗弘准教授 (アジア・アフリカ文学・文化論1・2)
 - 荒原邦博准教授 (ヨーロッパ・アメリカ文学・文化論1・2)
 - 小田原琳准教授 (ヨーロッパ・アメリカ地域研究1・2)
 - 青木雅浩准教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 倉田明子准教授 (アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2)
 - 荒川慎太郎准教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 伊藤智ゆき准教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 塩原朝子准教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 品川大輔准教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 山越康裕准教授 (アジア・アフリカフィールド言語学1・2)
 - 太田信宏准教授 (アジア・アフリカフィールド地域研究1・2)
- ・科目内容を考慮し担当科目を変更。
 - 土佐桂子教授 (変更前: アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1・2 変更後: アジア・アフリカ文学・文化論1・2)
- ・専任教員昇任のため、専任教員等の配置の変更。
 - 藤縄康弘教授昇任 (ヨーロッパ・アメリカ言語論1・2)
 - 田島陽一教授昇任 (国際関係論1・2)
 - 高松洋一教授昇任 (アジア・アフリカフィールド地域研究1・2)
 - 外川昌彦教授昇任 (アジア・アフリカフィールド地域研究1・2)
- ・担当予定教員の死去のため、専任教員等の配置の変更。
 - ラトクリフ・ロバート教授 (アジア・アフリカ言語論1・2)
- ・専任教員特別研修のため、専任教員等の配置の変更。
 - 五十嵐孔一教授 (アジア・アフリカ言語論1)

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査)** を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度 (平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
8	6	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
58	39	0	0	97	82	48	0	0	130	82	48	0	0	130
(82)	(48)	(0)	(0)	(130)						[24]	[9]	[]	[]	[33]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
97	0	0			130	0	0			130	0	0		
(130)	(0)	(0)								[33]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63～65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{130}{97} = \boxed{134.02} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{130} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	ラトクリフ・ロバート	選択	アジア・アフリカ言語論1	①	死去のため(30)	
			選択	アジア・アフリカ言語論2	①		
合計(D)				後任補充状況の集計(E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	1 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計(F)				後任補充状況の集計(G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	1 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{97} = 1.03 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 専任教員が交代となった「アジア・アフリカ言語論1・2」は、必修科目ではなく他に担当教員も多数いるため、修了までに必要な科目履修に大幅な影響はないと考える。</p> <p>【学生への周知方法】 授業時間割には交代前の教員の授業は記載せず、履修計画に影響がないように周知をした。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合国際学研究所 世界言語社会専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
学部・大学院合同のFD委員会を中心にFD活動の企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
平成29年度の実施状況については、計8回開催し、委員の出席率は良好であった。

c 委員会の審議事項等
授業の改善に関して、企画、立案、実施、調整等を行う。（国立大学法人東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部・大学院総合国際学研究所FD委員会規程 第4条）

② 実施状況

a 実施内容
評価基準の可視化等の教育手法の改善に向けた取組紹介のほか、アカデミックハラスメントや留学生サポートの手立て等の学生支援全般についても幅広く研修を行っている。

b 実施方法
教授会の開催前等、教員の参加しやすい時間帯に設定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
平成29年度は計8回実施し、平均して1回あたり約140名の参加を得た。これは教授会構成教員の約7割に及ぶ。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
課題解決型授業や双方向討議型授業など、本学において優れた取り組みをすでに実施している教員が、各教員の授業改善に繋がるような事例紹介を行っている。また、各授業での取り組みを教員同士が情報共有するために、アンケート結果をとりまとめて、ウェブ資料として閲覧可能にしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
有 毎年12月～1月

b 教員や学生への公開状況、方法等
学務情報システムによるアンケートにより実施

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月の設置以来、設置の趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画通り実施している。引き続き、更なる研究科の発展を目指したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東京外国語大学

(2) 大学名

東京外国語大学大学院

(3) 大学の位置

〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タテイシ ヒロタカ) 立石 博高 (平成25年4月)		
研究科長	(アオヤマ トオル) 青山 亨 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究所 国際日本専攻 博士(学術)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	3年	10人	30人	基礎となる学部等 総合国際学研究所 博士前期課程

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9人 10人 () []	1人 () () []	人 () () []	人 () () []	人 () () []	人 () () []	0.9倍	・平成30年度改組 ・秋季入学試験未実施 ・春季入学において、社会人の別は設けていない
志願者数	17 (0) [13]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	16 (0) [13]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	10 (0) [7]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	9 (0) [6]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.9							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	9 [6] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	その他の学期の入学定員：1名
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/				[] ()	[] ()	
計	9 [6] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	9人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
合計	9人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 国際日本専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	(研究科共通科目)											
	異分野交流研究1	1-2-3①		2								1
	異分野交流研究2	1-2-3③		2		1						
国際日本専攻	<国際日本プログラム>											
	日本語論1	1-2-3①		2		1						
	日本語論2	1-2-3③		2		1						
	日本語教育論1	1-2-3①		2		2	2					
	日本語教育論2	1-2-3③		2		2	2					
	言語教育論1	1-2-3①		2		1	1					
	言語教育論2	1-2-3③		2		1	1					
	日本語文学・文化論1	1-2-3①		2			1					
	日本語文学・文化論2	1-2-3③		2			1					
	日本歴史社会論1	1-2-3①		2		1						
	日本歴史社会論2	1-2-3③		2		1						
	日本政治経済論	1-2-3①		2			1					
	日本政治経済論	1-2-3③		2			1					
Japan Studies 1	1-2-3②										1	
Japan Studies 2	1-2-3④										1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	(研究科共通科目)											
	異分野交流研究1	1-2-3①		2								2
	異分野交流研究2	1-2-3③		2			1					3
国際日本専攻	<国際日本プログラム>											
	日本語論1	1-2-3①		2			2	1				
	日本語論2	1-2-3③		2			2	1				
	日本語教育論1	1-2-3①		2			4	2				
	日本語教育論2	1-2-3③		2			4	2				
	言語教育論1	1-2-3①		2			1	1				
	言語教育論2	1-2-3③		2			2					
	日本語文学・文化論1	1-2-3①		2			2					
	日本語文学・文化論2	1-2-3③		2			2					
	日本歴史社会論1	1-2-3①		2			2					
	日本歴史社会論2	1-2-3③		2			2					
	日本政治経済論	1-2-3①		2			1					
	日本政治経済論	1-2-3③		2			1					
Japan Studies 1	1-2-3②										1	
Japan Studies 2	1-2-3④										1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・科目内容（異分野交流）に鑑み、「異分野交流研究1」に兼任教員を1名追加。
- ・科目内容（異分野交流）を鑑み、「異分野交流研究2」における「教授1」の担当者を変更し、兼任教員を3名追加。
- ・教育内容の充実、指導体制強化のため、「日本語言語論1・2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本語教育論1・2」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授4」「准教授2」に変更。
- ・教育内容の充実、科目内容を鑑みた担当者変更のため、「日本語文学・文化論1・2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本歴史社会論1・2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・科目内容を鑑みた担当者変更のため、「日本政治経済論1・2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目内容を鑑みた担当者変更のため、「Japan Studies1・2」の専任教員等の配置を「兼任教員1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	0 科目 [0]	16 科目 [0]	0 科目 [0]	16 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 専任教員が交代となった「日本語文学・文化論1・2」「日本政治経済論1・2」は，科目内容を鑑み、より適任と思われる専任教員を担当者として充てたため、教育内容の充実を図ることができたと考ええる。</p> <p>【学生への周知方法】 授業時間割には交代前の教員の授業は記載せず、履修計画に影響がないように周知をした。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	94,250 m ²	0 m ²	0 m ²	94,250 m ²			
	運動場用地	27,758 m ²	0 m ²	0 m ²	27,758 m ²			
	小 計	122,008 m ²	0 m ²	0 m ²	122,008 m ²			
	そ の 他	7,992 m ²	0 m ²	0 m ²	7,992 m ²			
	合 計	130,000 m ²	0 m ²	0 m ²	130,000 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		42,158 m ² (42,158 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	42,158 m ² (42,158 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		42 室	42 室	1 室	6 室 (補助職員 0 人)	1 室 (補助職員 5 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		国際日本専攻			16 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際日本専攻	855,261 [463,980] (863,350 [467,428])	9,607 [3,370] (9,769 [3,565])	6,473 [5,904] (6,473 [5,904])	1188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
	計	855,261 [463,980] (863,350 [467,428])	9,607 [3,370] (9,769 [3,565])	6,473 [5,904] (6,473 [5,904])	1188 (1,188)	7 (7)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		6,930m ²		564席	689,694冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,040 m ²		テニスコート 5面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京外国語大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
言語文化学部									
言語文化学科	4	370	3年次 15	1,510	学士（言語・地域文化）	1.06	平成24年度	東京都府中市朝日町三丁目11番1号	
国際社会学部									
国際社会学科	4	375	3年次 15	1,530	学士（言語・地域文化）	1.06	平成24年度	同上	
外国語学部									
欧米第一課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
欧米第二課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
ロシア・東欧課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
東アジア課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
東南アジア課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
南・西アジア課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
日本課程	4	-	-	-	学士（言語・地域文化）	-	平成7年度	同上	平成24年度より学生募集停止
総合国際学研究科 博士前期課程									
世界言語社会専攻	2	102	-	204	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	0.89	平成28年度	同上	
国際日本専攻	2	46	-	86	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	0.95	平成28年度	同上	
言語文化専攻	2	-	-	-	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止
言語応用専攻	2	-	-	-	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止
地域・国際専攻	2	-	-	-	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	-	平成19年度	同上	平成28年度より学生募集停止

国際協力専攻	2	-	-	-	修士（学術） 修士（文学） 修士（言語学） 修士（国際学）	-	平成19年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
博士後期課程 世界言語社会専攻	3	30	-	90	博士（学術）	0.87	平成30年度	同上	10月入学入試未 実施
国際日本専攻	3	10	-	30	博士（学術）	0.90	平成31年度	同上	10月入学入試未 実施
言語文化専攻	3	-	-	-	博士（学術）	-	平成21年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
国際社会専攻	3	-	-	-	博士（学術）	-	平成21年度	同上	平成30年度より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合国際学研究所 国際日本専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
			専	教授	柴田 勝二 <平成30年4月> 異分野交流研究2 日本語文学・文化論1 日本語文学・文化論2
専	教授	川村 大 <平成30年4月> 異分野交流研究2 日本語論1 日本語論2	専	教授	川村 大 <平成30年4月> 日本語論1 日本語論2
			専	准教授	花崗 悟 <平成30年4月> 日本語論1 日本語論2
			専	教授	早津 恵典子 <平成30年4月> 日本語論1 日本語論2 言語教育論2 Japan Studies1 Japan Studies2
専	教授	海野 多枝 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2	専	教授	海野 多枝 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
専	教授	鈴木 智美 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2	専	教授	鈴木 智美 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
専	准教授	阿部 新 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2	専	准教授	阿部 新 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
専	准教授	中井 陽子 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2	専	准教授	中井 陽子 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
			専	教授	伊東 祐郎 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
			専	教授	藤森 弘子 <平成30年4月> 日本語教育論1 日本語教育論2
専	教授	荒川 洋平 <平成30年4月> 言語教育論1 言語教育論2	専	教授	荒川 洋平 <平成30年4月> 言語教育論1 言語教育論2
専	准教授	谷口 龍子 <平成30年4月> 言語教育論1 言語教育論2	専	准教授	谷口 龍子 <平成30年4月> 言語教育論1
専	准教授	菅長 理恵 <平成30年4月> 日本語文学・文化論1 日本語文学・文化論2			
			専	教授	村尾 誠一 <平成30年4月> 日本語文学・文化論1 日本語文学・文化論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	フィリップ・シートン <平成30年4月> 日本歴史社会論 1 日本歴史社会論 2	専	教授	フィリップ・シートン <平成30年4月> 日本歴史社会論 1 日本歴史社会論 2
			専	教授	宮城 徹 <平成30年4月> 日本歴史社会論 1 日本歴史社会論 2
専	准教授	春名 展生 <平成30年4月> 日本政治経済論 1 日本政治経済論 2			
			専	教授	友常 勉 <平成30年4月> 日本政治経済論 1 日本政治経済論 2
			兼任	教授	加藤 雄二 <平成30年4月> 異分野交流研究 2
兼任	教授	鈴木 玲子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1	兼任	教授	鈴木 玲子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1 異分野交流研究 2
			兼任	准教授	金指 久美子 <平成30年4月> 異分野交流研究 1 異分野交流研究 2
兼任	講師	イリス・ハウカンブ <平成30年4月> Japan Studies 1			
兼任	准教授	朝日 祥之 <平成30年4月> Japan Studies 2			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容充実のため、下記の教員を追加。 柴田勝二教授（日本語学・文化論1・2） 早津恵美子教授（日本語論1・2、言語教育論2） 伊藤祐郎教授（日本語教育論1・2） 藤森弘子教授（日本語教育論1・2） 村尾誠一教授（日本語学・文化論1・2） 宮城徹教授（日本歴史社会論1・2） ・指導体制強化のため、下記の教員を追加。 花園悟准教授（日本語論1・2） ・科目内容を鑑みた担当者の変更。 川村大教授から柴田勝二教授（異分野交流研究2） 春名展生准教授から友常勉教授（日本政治経済論1・2） 早津恵美子教授（Japan Studies1・2） ・科目内容（異分野交流）に鑑み、下記の兼任教員を追加。 加藤雄二教授（異分野交流研究2） 金指久美子准教授（異分野交流研究1・2）
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
5	5	0	0	10	12	4	0	0	16	12	4	0	0	16
(12)	(4)	(0)	(0)	(16)						[7]	[△1]	[0]	[0]	[6]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
10	0	0			16	0	0			16	0	0		
(16)	(0)	(0)								[6]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要書済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63~65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{10} = \boxed{160} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	菅長理恵	選択	日本語文学・文化論1	①	科目内容を鑑みた担当者変更のため(30)				
			選択	日本語文学・文化論2	①					
2	准教授	春名展生	選択	日本政治経済論1	①		科目内容を鑑みた担当者変更のため(30)			
			選択	日本政治経済論2	①					
合計(D)			後任補充状況の集計(E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1										
2										
合計(F)			後任補充状況の集計(G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{11} = 18.18 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1							
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 専任教員が交代となった「日本語文学・文化論1・2」「日本政治経済論1・2」「Japan Studies1・2」は、科目内容を鑑み、より適任と思われる専任教員を担当者として充てたため、教育内容の充実を図ることができたと考える。</p> <p>【学生への周知方法】 授業時間割には交代前の教員の授業は記載せず、履修計画に影響がないように周知をした。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

7 その他全般的事項

<総合国際学研究所 国際日本専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
学部・大学院合同のFD委員会を中心にFD活動の企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
平成29年度の実施状況については、計8回開催し、委員の出席率は良好であった。

c 委員会の審議事項等
授業の改善に関して、企画、立案、実施、調整等を行う。（国立大学法人東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部・大学院総合国際学研究所FD委員会規程 第4条）

② 実施状況

a 実施内容
評価基準の可視化等の教育手法の改善に向けた取組紹介のほか、アカデミックハラスメントや留学生サポートの手立て等の学生支援全般についても幅広く研修を行っている。

b 実施方法
教授会の開催前等、教員の参加しやすい時間帯に設定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
平成29年度は計8回実施し、平均して1回あたり約140名の参加を得た。これは教授会構成教員の約7割に及ぶ。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
課題解決型授業や双方向討議型授業など、本学において優れた取り組みをすでに実施している教員が、各教員の授業改善に繋がるような事例紹介を行っている。また、各授業での取り組みを教員同士が情報共有するために、アンケート結果をとりまとめて、ウェブ資料として閲覧可能にしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
有 毎年12月～1月

b 教員や学生への公開状況、方法等
学務情報システムによるアンケートにより実施

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月の設置以来、設置の趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画通り実施している。引き続き、更なる研究科の発展を目指したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年7月 公表予定

b 公表方法

記入例)

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。